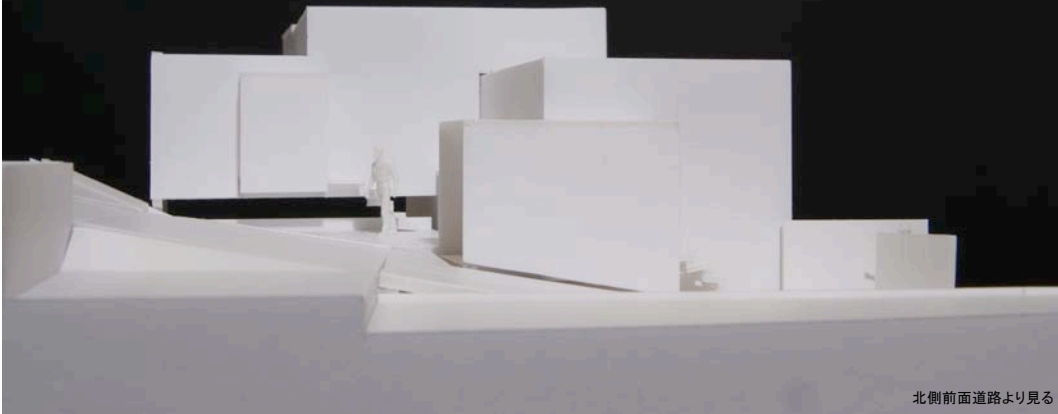


ハコノイエ

明るい陽光が差し込み、風の通りがよい開放的なリビングダイニングをイエの中心に配置し、リビングダイニングとその他の部屋はお互いの気配を感じつつも、緩やかに連続した空間にすることでずっと相手を見守ることができるような計画とします。リビングダイニングの東西にテラスを配置し、採光と通風を確保します。西側のテラスは公園や河川に面しているため眺望を確保することができ、季節の良い時期は窓を開放してリビングの延長として利用することができますようにします。また、東側のテラスは洗面室・浴室・勝手口へと連続した回遊性のあるシンプルな生活動線で繋いで使い易いものとします。外観は室内用途ごとに設けたボリュームを採光や通風に配慮しながら積み重ねできるだけシンプルなものとし、時間の経過や流行に左右されず経年変化とともに陳腐化しないデザインとします。外壁材は耐候性のあるガルバリウム鋼板を採用します。



北側前面道路より見る



南西側公園より見る



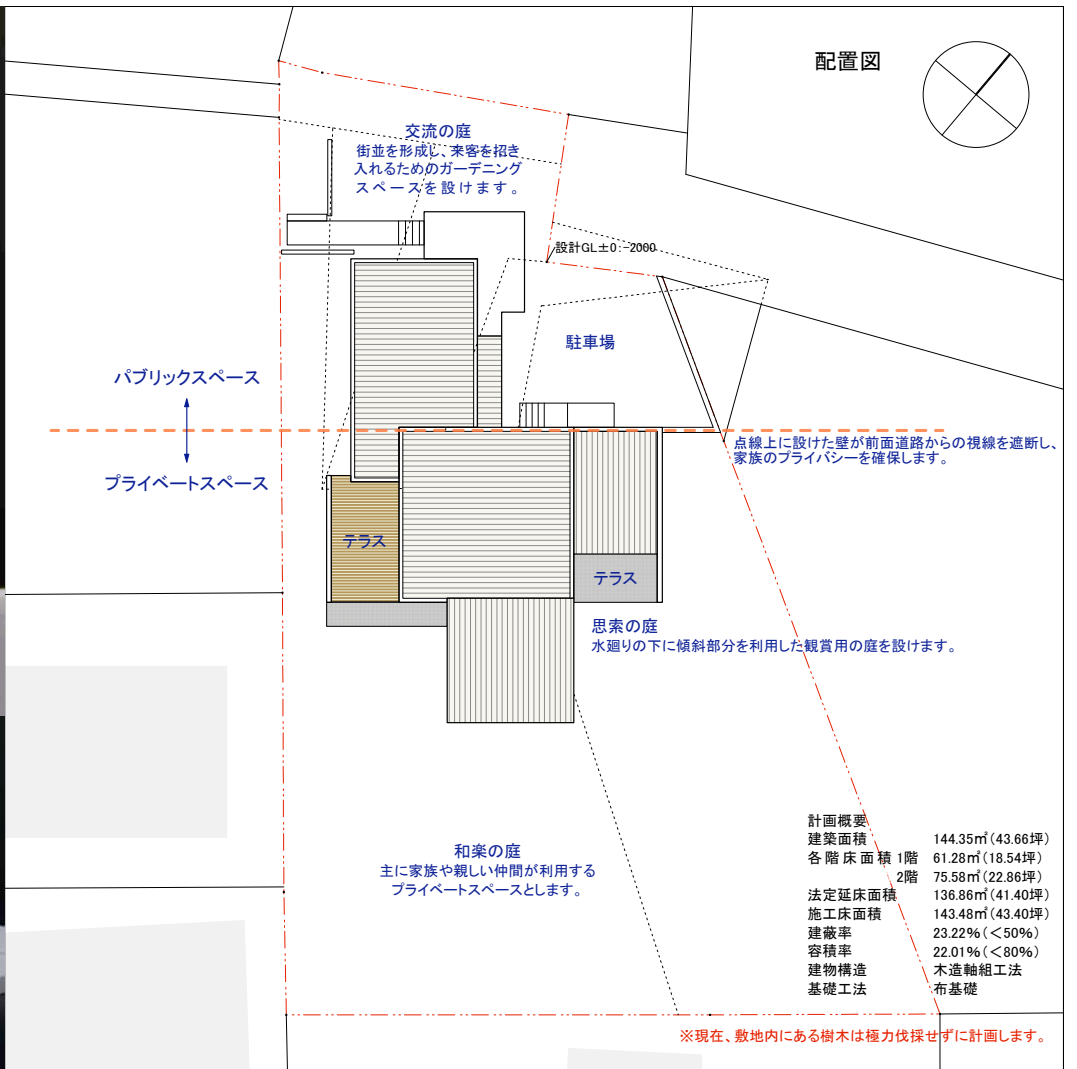
西側上空からの俯瞰



北西側からの俯瞰



東側傾斜面より見る

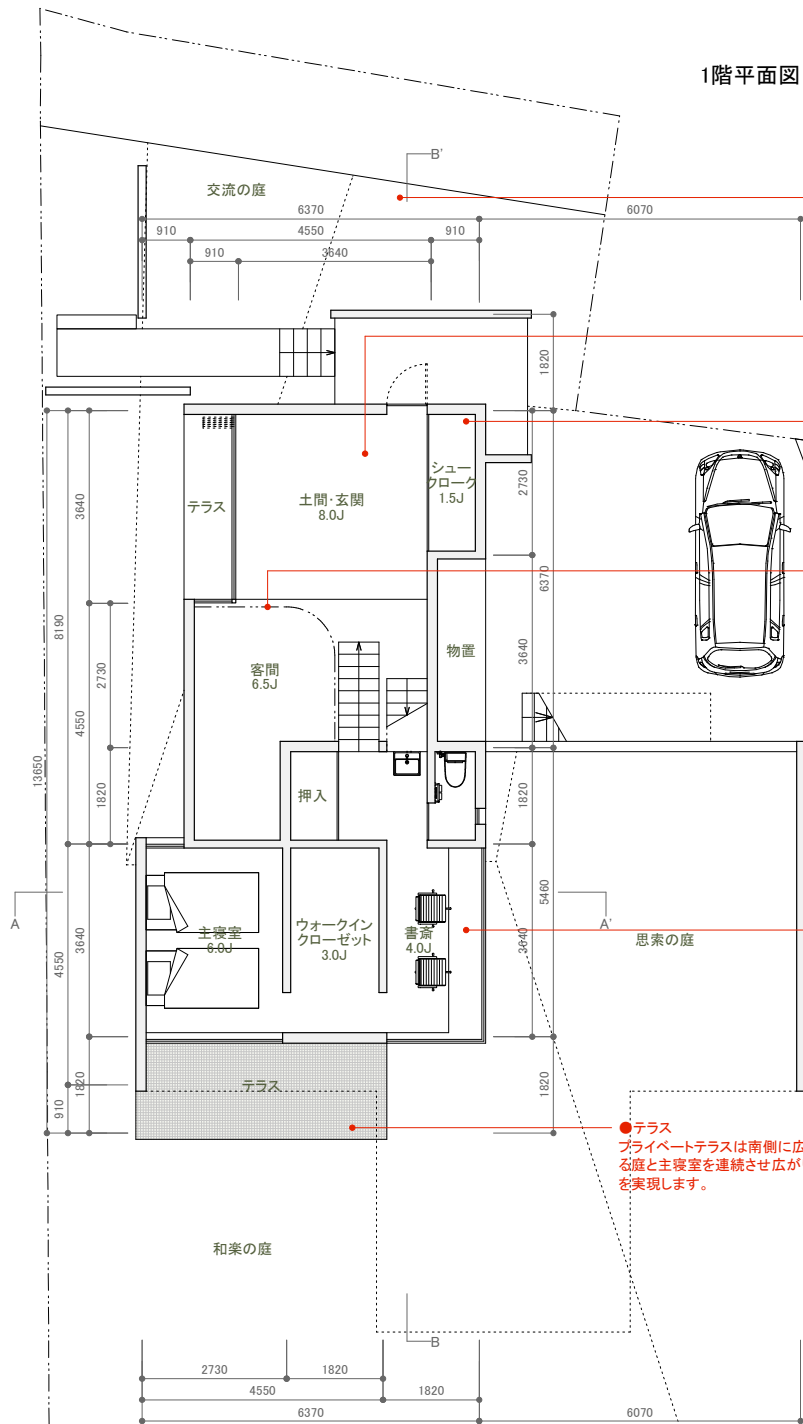


南側より見る



南西側公園からの俯瞰

1階平面図



●前庭(交流の庭)
街並を形成し、来客を招き入れるためのガーデニングスペースを設けます。

●土間・玄関
AV鑑賞、子供の遊び場、友人との集いなど多目的に利用することができます。

●シュークローク
1.5畳分の大きさを確保し、靴以外にもコートや道具箱などを収納できるようにします。

●キッチン・勝手口
キッチンと駐車場を繋ぐ勝手口を設けることで機能性を高めます。

●客間
土間の床レベルより300mm程高くして縁側のように利用することができます。また、客間として利用できるように利用する際は土間とはカーテンで仕切ります。

●リビングダイニング
イエの中心に配置し、1階主寝室以外の部屋の気配を感じられるようにします。また、階段脇・子供室手前・キッチン上部を利用して収納スペースを確保します。

●キッチン
シンク下にはダストボックス置場をIHヒーター脇にはキッチン家電を並べるスペースを確保します。食器類はシンクリビング側とIHヒーター下を利用して収納します。

●書斎
日常生活の場とは切り離して設けます。また、窓の外には傾斜を利用して立体的な庭を望むことができます。

●キッチン・洗面室
テラスや勝手口と連続した空間にすることで水廻りの動線に回遊性を持たせます。

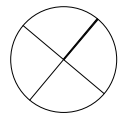
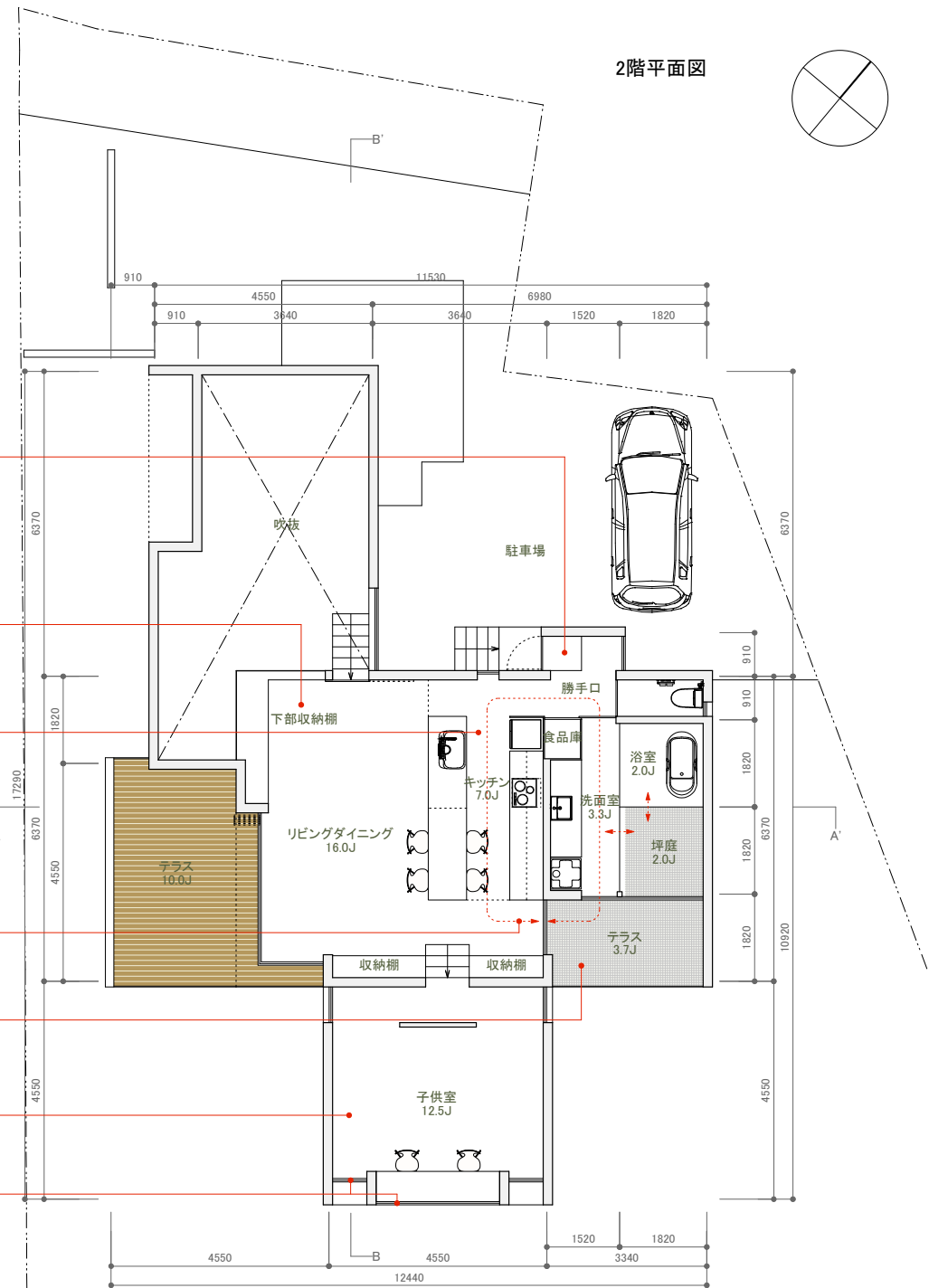
●テラス
プライベートテラスは両側に広がる庭と主寝室を連続させ広がり感を実現します。

●テラス・坪庭
物干し場やゴミの分別一時保管場所として利用します。雨の場合は坪庭を物干し場として利用できるようにします。

●子供室
当面は大部屋として利用しますが、将来家具などを利用して2室に分割できるようにします。

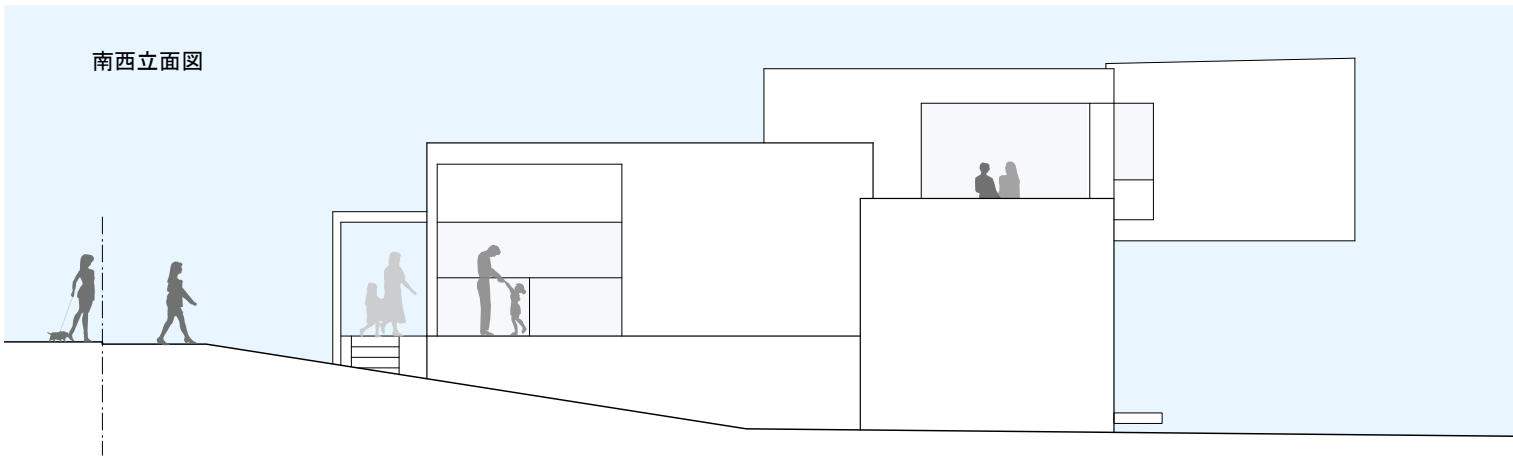
●窓(開口部)
採光を確保する窓や風を取り込む窓といったように機能に合わせて開口部を設けます。風を取り込む窓は雨風を凌げるように外壁より奥まった位置に設けます。

2階平面図

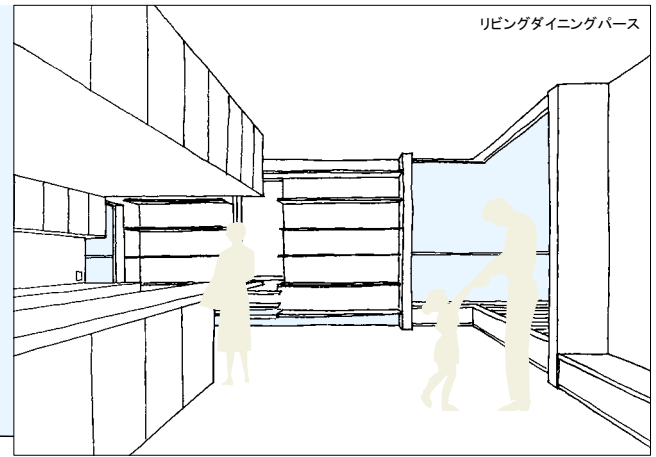


scale	A3:1/100
drawn by	五十嵐
date	2008/11/27

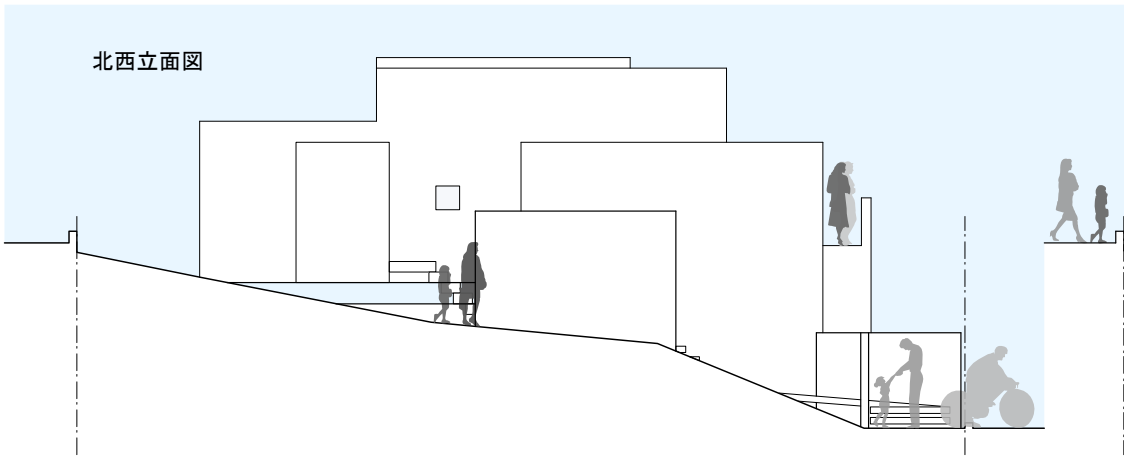
南西立面図



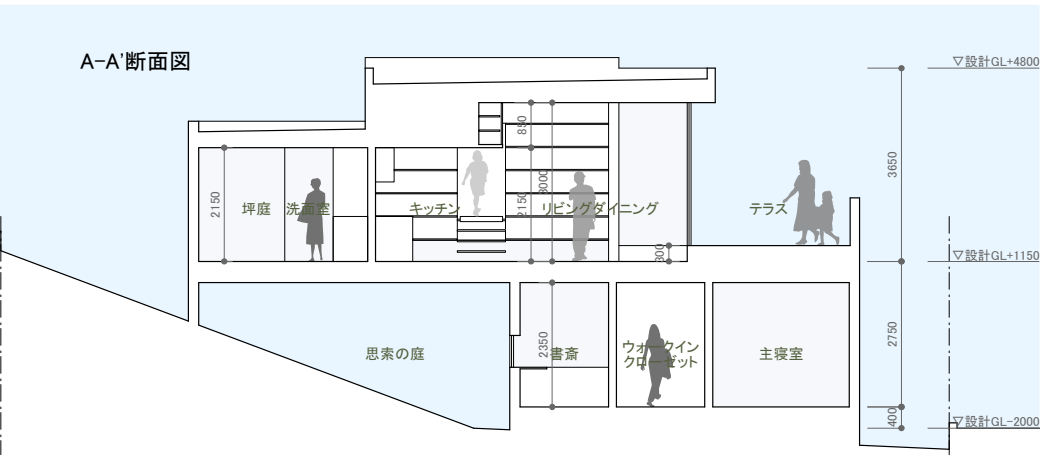
リビングダイニングパース



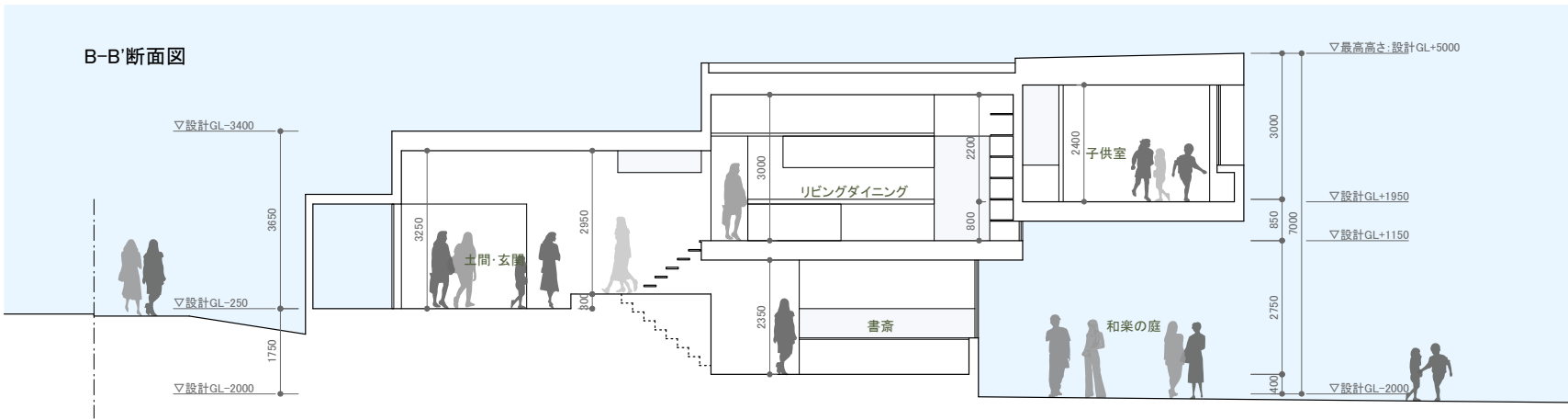
北西立面図



A-A'断面図



B-B'断面図



テラス開口部イメージ

